

## 黙示録19章： イエス・キリストの再臨

### 1－5節： 天における大歓声

黙示録の概要「あなたの見た事、今ある事、この後に起こる事(1:19)」

- 1)「あなたの見た事」ヨハネが見た栄光に輝くイエス(1章)
  - 2)「今ある事」キリストの教会(2－3章)
  - 3)「この後に起こる事」(4－22章)
    - a) 天における情景(4－5章) 天にある教会
    - b) 地における神の裁き(6－18章)
- そして再び、天の情景に戻った。

「ハレルヤ」： ヘブル語 「ハレル」＝ほめたたえる 「ヤ」＝主

「アーメン」： 「同意する」という意味

→ 今、大淫婦(＝バビロン)が滅んだことを喜び、大歓声を上げている

大淫婦 = 安逸を貪る生活

天 = 世において、試練や迫害のある生活

試練・迫害：「もし世があなたがたを憎むなら、世はあなたがたよりもわたしを先に憎んだことを知っておきなさい。もしあなたがたがこの世のものであったなら、世は自分のものを愛したでしょう。しかし、あなたがたは世のものではなく、かえってわたしが世からあなたがたを選び出したのです。それで世はあなたがたを憎むのです。(ヨハネ 15: 18-19)」

天における報い：「いまは、しばらくの間、さまざまな試練の中で、悲しまなければならないのですが、信仰の試練は、火を通して精練されてもなお朽ちて行く金よりも尊いのであって、イエス・キリストの現われのときに称赞と光栄と栄誉に至るものであることがわかります。(1ペテロ 1:6-7)」

### 6－10節： 小羊の婚宴

「ハレルヤ。万軍の支配者である、われらの神である主は王となられた」：

” Alleluia: for the Lord God omnipotent reigneth.” ヘンデル(Handel,)のメサイア。

→ 世界で神が王となっていないために、さまざまな問題が起こっている。けれども、今や、神が王となったのでこれらの問題はもう起こらなくなる。

#### 小羊の婚姻

「夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。キリストがそうされたのは、みことばにより、水の洗いをもって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、ご自身で、しみや、しわや、そのようなものの何一つない、聖く傷のないものとなった栄光の教会を、ご自分の前に立たせるためです。(エペソ 5:25-27)」

- 1)教会は、キリストが自分を愛し、ご自身をささげた(十字架についた)ことを知っている人々の集まり。
- 2)キリストの愛によって、自分はキリストの者、キリストに結ばれた者になったことを知る。
- 3)だから、キリストを愛し、キリストに直に会いたいと切望する。

「今、私たちは鏡にぼんやり映るものを見ていますが、その時には顔と顔とを合わせて見ることになりま  
す。(1コリント 13:12)」(当時の鏡は青銅だった)

「御霊も花嫁も言う。『来てください。』…これらのことをあかしする方がこう言われる。『しかり。わたしは  
すぐに来る。』アーメン。主イエスよ、来てください。(黙示 22:17,20)」

「主よ、来てください(マラナ・タ)。(1コリント 16:22)」(これが初代教会の挨拶だった)

4)キリストに会うまでの間、この地上で会う準備をする。それに必要なのが「聖め(성화, 정화)」。  
→ イエス様を愛する愛ではない、悪い思い、汚れた思いを清めていただく生活を送る。

「聖徒たちの正しい行ない」： キリストの義を身につけている状態である。

「神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方にあつて、神の  
義となるためです。(2コリント 5:21)」

「これは神の真実のことばです」： あまりにも素晴らしいことなので、信じられないかもしれない。

「同じしもべです」： 使徒ヨハネでさえ、光り輝く天使を拝もうとした。私たちは、神に用いられている器を  
拝む傾向がある。

「イエスの証しは預言の霊です」： 預言、聖書の中心はイエス・キリスト。

「あなたがたは、聖書の中に永遠のいのちがあると思うので、聖書を調べています。その聖書が、わたし  
について証言しているのです。(ヨハネ 5:39)」聖霊が働かれると、イエス様の栄光が現れる。

### 11-16節： イエス・キリストの現われ

「白い馬」： 初めに来られた時は、ろばに乗っておられた。柔和な、へりくだった姿だった。けれども再び  
来られる時は、世界の軍隊と戦われる力強い王として来られる。

「忠実また真実」： キリストは父なる神を忠実に、真実に私たちに表してくださった。「わたしを見た者は、  
父を見たのです。(ヨハネ 14:9)」

「義をもって裁きをなし」： 人間の戦争は完全に正しいことはない。しかしキリストは、義の戦争をしてくだ  
さる。

「燃える炎であり」： イエス様は全てのものを見通しておられる。

「多くの王冠」： 一つの国の王ではない。世界のあらゆる国々の王であられる。

「だれも知らない名が書かれていた」： 「それゆえ、神は、キリストを高く上げて、すべての名にまさる名  
をお与えになりました。(ピリピ 2:9)」

「血に染まった衣」： これは十字架による血ではなく、戦っている時の敵の返り血である。

「神のことば」： 「初めに、ことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。この方は、初  
めに神とともにおられた。すべてのものは、この方によって造られた。造られたもので、この方によらずに  
できたものは一つもない。この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。光はやみの中に輝  
いている。やみはこれに打ち勝たなかった。…ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。(ヨハネ  
1:1-5,14)」

「天にある軍勢」： 教会のこと！「私たちのいのちであるキリストが現われると、そのときあなたがたも、  
キリストとともに、栄光のうちに現われます。(コロサイ 3:4)」

「鋭い剣が出ていた」:

1) 神の言葉は鋭い剣のようである。「神のことは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。(ヘブル 4:12)」

2) キリストの言葉は、天と地を創造する力がある。「そのとき、神が『光よ。あれ。』と仰せられた。すると光ができた。(創世記 1:3)」

「鉄の杖をもって」: 神の国ではキリストが王となり、いかなる悪も正しく罰せられる。

「王の王、主の主」ハレルヤ!

### 17-21節: 反キリストの滅亡

「神の大宴会」: キリストによって倒された敵どもの死体に、猛禽が群がる。

「獣と地上の王たちとその軍勢が集まり」: ハルマゲドンに集まった王たち

「また、私は竜の口と、獣の口と、にせ預言者の口とから、かえるのような汚れた霊どもが三つ出て来るのを見た。彼らはしるしを行なう悪霊どもの霊である。彼らは全世界の王たちのところに出て行く。万物の支配者である神の大なる日の戦いに備えて、彼らを集めるためである。こうして彼らは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる所に王たちを集めた。(黙示 16:13-14,16)」

「獣は捕えられた」: 世界の人々は「だれがこの獣に比べられよう。だれがこれと戦うことができよう。(13:4)」と言った。けれどもキリストの前では無力である。

「火と硫黄の池」: 永遠の苦しみの場所、ゲヘナ(Gehenna)。

「口から出る剣によって殺され」: どんなに高技術の兵器も、核兵器をもって戦っても、キリストが「死ね」と一言いわれたら、彼らは瞬時にして殺される!

### まとめ: キリストの再臨 テサロニケ人への手紙第二1章 4-10 節

1) 福音を受け入れた人々にとっては、すべての悪が裁かれ、私たちの愛するキリストが王となられる喜びの日。

2) 福音を拒んでいる人には、恐怖の日。

「それゆえ私たちは、神の諸教会の間で、あなたがたがすべての迫害と患難とに耐えながらその従順と信仰とを保っていることを、誇りとしています。このことは、あなたがたを神の国にふさわしい者とするため、神の正しいさばきを示すしるしであって、あなたがたが苦しみを受けているのは、この神の国のためです。つまり、あなたがたを苦しめる者には、報いとして苦しみを与え、苦しめられているあなたがたには、私たちとともに、報いとして安息を与えてくださることは、神にとって正しいことなのです。そのことは、主イエスが、炎の中に、力ある御使いたちを従えて天から現われるときに起こります。そのとき主は、神を知らない人々や、私たちの主イエスの福音に従わない人々に報復されます。そのような人々は、主の御顔の前とその御力の栄光から退けられて、永遠の滅びの刑罰を受けるのです。その日に、主イエスは来られて、ご自分の聖徒たちによって栄光を受け、信じたすべての者の・・・そうです。あなたがたに対する私たちの証言は、信じられたのです。・・・感嘆の的となられます。」